

再生水利用・産業排水処理の促進に向けた 自動再生式活性炭排水処理技術普及・実証事業 Jトップ株式会社(大阪府)

インドネシア国の開発ニーズ

- 西ジャワ州を縦断するチタルム川の水質悪化。
- 安価で運転・メンテナンスが容易な排水処理技術の不足。
- 同国主要産業である繊維工場からの難分解性物質を含む着色排水による環境負荷。

中小企業の技術・製品



インドネシア側に見込まれる成果

- 現地政府の再生水利用促進・排水管理行政の制度整備。
- 活性炭のオンサイト再生技術を確立し、再生処理コストを大幅軽減。
- 自動再生によるメンテ負担軽減。

事業の内容

- 自動再生式活性炭排水処理技術の繊維工場における技術検証及び両国の排水処理専門家(現地大学研究者、本邦排水処理技術者、本邦排水規制担当者)による現地規制担当者のキャパシティ・ビルディング。
- 現地行政による企業評価、インセンティブ付与事業、再生水利用義務化、再生水利用ガイドライン作成等の事業支援。

自動再生式活性炭排水処理装置

Jトップ社製品による 染色排水処理結果



日本側に見込まれる成果

現状

- 関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム(Team E-Kansai)のメンバーとして、関西とアジアとの経済交流関係の深化・拡大に寄与
- 産官学連携体制を活用し、現地での経済協力活動に寄与。同国の各関係機関や主要企業、バンドン工科大学とのネットワーク形成。

今後

- 近畿圏内企業の製品の販売開拓に向けた体制整備。